

2018年3月期 決算に関する主な質問

2018年5月16日
セガサミーホールディングス株式会社
財務経理本部 IR部

<2018年3月期 決算の主な質問>

■遊技機事業

Q：2019年3月期のパチンコの販売台数計画が大幅に増加する要因は？

過去に発売した『ぱちんこCR真・北斗無双』や、4月に稼働開始した『パチンコCR偽物語』が現在も稼働が良く、中古機市場で高値を付けていることから、『パチンコCR偽物語』はリピート販売も行っております。2019年3月期は、『パチンコCR偽物語』に加えて、『ぱちんこCR北斗の拳7 百裂乱舞』の販売を進めるほか、『ぱちんこCR真・北斗無双』の後継機である『ぱちんこCR真・北斗無双 第2章』等の旧基準機を中心に販売することで、20万台以上の販売を目指していきたいと考えております。

また、2020年3月期以降は新基準機を中心に販売を行う予定ですが、新基準機は新たに設定を設けられるようになるなど、新たな遊びが提供できると考えており、開発期間を長くすることで、より良いタイトルを仕込んでいきたいと思っております。

■エンタテインメントコンテンツ事業

Q：2019年3月期のデジタルゲーム分野の売上計画が大幅増収となる要因は？

また、仮に想定よりも売上が伸びなかった場合の利益水準はどう考えているか？

2019年3月期は前期と比較して新作タイトル投入数の増加を計画しております。すでに4月に投入した『プロサッカークラブをつくろう! ロード・トゥ・ワールド』や、『共闘ことばRPG コトダマン』は手応えを感じており、しっかりと収益を上げていきたいと思っております。仮にヒットしなくとも、既存タイトルについては売上が減衰傾向にあるものの、ある程度償却期間も終了していることから、利益率の面では上昇傾向にあります。

新作タイトルでヒットが出れば、デジタルゲーム分野全体で利益率20%以上は目指せる事業モデルですが、ヒット作が出なくとも既存タイトルで30、40億円程度の営業利益は出せるベースがあるため、今後ヒット作を生むことで目標をクリアしていきたいと考えております。

Q：パッケージゲームのリピートが好調だが、どのような施策を実施しているのか？

パッケージゲームでは、アジアの市場が伸びてきており、当社では台湾を中心に拠点を設けて直販施策を行っており、現地の販売ショップに対して直接レイアウトのアドバイスを実施するなど、販売強化に取り組んでおります。

また、パッケージゲームのデジタル配信比率が上昇してきており、コンソールでは欧米のダウンロードでの購入が増えてきております。また、売って終わりにするのではなく、長く遊んで頂くための追加要素の配信を行うことで、リピート販売を押し上げております。PCゲームでもダウンロード販売が中心になっていることから、プラットフォームを運営するSTEAMとのリレーションを強化しており、新作に加えて過去のパッケージタイトルをPC向けに配信したり、セール等も実施したりしながら戦略的にリピート販売に繋げております。

■リゾート事業

Q：国内 IR 事業に関して事業内容や投資規模は？

マカオの事例にもある通り、ゼロから IR 事業に参入する企業が成功を収めております。当社においては既にノウハウを蓄積していることから IR 事業に参入することは可能な環境と考えております。また、日本国内の IR でもあることから、日本企業としてアドバンテージもあると考えております。2019 年 3 月期の動きについては、IR 法案の進捗状況次第となるため、事業内容を発表する時期などは法案進捗を見ながら検討していきます。

投資規模については、内部収益率が重要であり、最低でも利回り 15%~20%以上に見合う投資規模になると想定しております。カジノ面積については総面積の 3%と言われておりますが、きちんと収益性を見極めたうえで検討していきたいと考えております。

Q：国内 IR 事業に関して、現時点で単独でやるか、パートナーと組んでやるか、どのように考えているか？

IR 事業を国内でやる以上は、マジョリティを取れるように取り組んでいきたいと考えております。国内 IR を外資単独で行うことを想定した場合、海外に利益の大半が流出してしまうことも考えられるため、国内企業の関与は必要になると考えております。当社は合併事業で行っている仁川のパラダイスシティの取り組みを通して、着実にノウハウの蓄積を行っております。現状は 50 人程度の当社従業員がパラダイスシティで働いておりますが、将来的には更に増員して、ノウハウ蓄積を進めたいと考えております。

国内 IR 事業の進捗については、さまざまなパートナー候補とも話をしており、連携も行えるような準備をしております。具体的な内容については発表できる準備を進め、適切な時期に発表出来ればと考えております。

IR 事業の参入は、セガサミー単独で参入できる準備を進めている一方で、外資オペレーターと組む可能性も検討しております。マカオの事例を見てもわかる通り、外資オペレーターと組む場合は、パートナー側にも清廉性が求められるため、アメリカのネバダ州でカジノライセンスを取得したことにより当社の清廉性が担保されていると考えていることから、パートナー選定においてもメリットがあると考えております。

以上

※本資料における業績見通し等の内容は、現時点で入手可能な情報に基づき、経営者が判断したものであります。

従って、これらの内容はリスクや不確実性を含んでおり、将来における実際の業績は、様々な影響によって大きく異なる結果となりうることを予めご承知おき下さい。